

授業科目名	企業内人材育成入門	科目コード	配当年次	単位
担当教員	本橋 潤子	EB73	3・4	4
<b>科目の概要</b>				
<p>知識創造が求められる現代、人材育成は人事担当者だけでなく、部下を持つマネージャーから一般従業員まですべての人にとって重要な課題である。特に、企業全体の知的生産性向上を実現するには、担当者や上司の個人的経験から得られた“狭い範囲の経験則”に頼るのではなく、「人の学び・成長」に関する諸科学の研究成果を基盤とした人材育成に取り組むことが不可欠である。</p> <p>本科目では、科学的アプローチによって導き出された企業の人材育成にまつわる基礎理論を学習する。心理学、教育学、社会学、経営学などの諸理論から、人の学習と成長のメカニズム、キャリア、研修の設計方法などの理解を深める。</p>				
<b>科目の到達目標</b>				
<p>①人材育成に関する基礎理論を理解することで、育成上のポイントをつかむことができる。</p> <p>②研修設計の方法論を理解し、研修企画の指針を立てることができる。</p>				
テキスト	『企業内人材育成入門』中原 淳 他, ダイヤモンド社, 2006年			
<b>テキストの読み方</b>				
<p>①テキストは、人材育成に関する研究の源流となる理論が図表などを交えてコンパクトにまとめられている。まずはこれらの理論を把握することが重要となる。</p> <p>②各項目の冒頭には、企業で起こりがちな問題が事例として描かれている。これらは理論を現場で応用していくためのヒントであり、自らの状況に置き換えて考えながら学習するのが望ましい。</p> <p>③効果的な研修を設計するための方法論が記載されている。テキストの解説に基づいて具体的に研修の企画を立ててみることで、実践力が養える。</p>				
<b>単位修得の方法</b>				
<p>①レポート課題（基本・応用）を提出し、それぞれ60点以上であれば合格となり、科目修得試験を受験できる。科目修得試験の得点が60点以上であれば合格となり、評価が確定し、4単位を修得できる。または、</p> <p>②基本レポートを提出し、60点以上であれば合格となり、スクーリングを受講できる。スクーリングに合格すると、評価が確定し、4単位を修得できる。この場合、応用レポートの提出は不要。</p>				